

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

http://www.okinawasisi.com

3月末現在の会員数561人

(男性367人・女性194人)

令和5年度事業計画(案)決まる

令和5年度の実業計画(案)と収支予算(案)が2月21日開催の理事会で承認され、6月開催予定の定時総会に上程される。「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正法の施行に伴い、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務となつたことで、当センターでは新しい分野での就業機会の開拓・マッチング機能や地域の実情を踏まえ、引き続き会員拡大と就業機会の創出に努める。

1 基本方針

- (1) 高齢者の入会促進と就業機会の確保・拡大
- (2) 安全・適正就業を推進し魅力あるシルバー人材センターの実現
- (3) 組織の充実・強化と運営基盤の強化
- (4) 公益目的事業の着実な実施と地域社会への参加活動推進

2 実施計画

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これをその能力、希望等にに応じて請負又は委任の形式により就業機会を提供する。又、ローター

シヨン就業やワークシェアリングを実施し、仕事の分かち合いに適切に配慮していく。

数値目標

会員数	580人
入会率	1.5%
受注件数	2,000件
就業延人員	49,500人日
就業率	78%
契約金額	310,700千円

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、そのような仕事を希望する高齢者のために有料の職業紹介事

事業)

② 労働者派遣事業(シルバー派遣)

- ・ 求人数 1件
- ・ 有料職業紹介事業収益 1千円

臨時的就業やワークシェアリングを実施し、仕事の分かち合いに適切に配慮していく。他の軽易な業務に係る就業の範囲内において、派遣労働を希望する会員を対象に「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき実施する。

- ・ 受注件数 8件
- ・ 労働者派遣事業収益 1300千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業に必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与することにより、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保提供をするため次のとおり講習会を行う。

- ・ 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育講習会
- ・ イ駐車場案内業務講習会
- ・ ウ接遇マナー講習会
- ・ エ介護研修・講習会
- ・ オその他各種講習会

(2面へ)

(1面から続く)

(4) 前述(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

本事業への信頼と理解が得られるよう、一般市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、高齢者自身の事業に対する意識啓発を図るため、次のとおり取り組む。

- ア 独自の普及啓発イベントの開催
- イ 普及啓発チラシの配布及び情報誌「ニュースゆんたく」の発行や「ホームページ」「SNS」等を活用した情報発信
- ウ 各種イベントへの参加

② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるように、安全意識の高揚と啓発活動を行うため次のとおり取り組む。

- ア 安全・適正就業推進大会の開催
- イ 安全就業パトロールの強化
- ウ 安全・適正就業委員会の開催と安全対策推進実施計画の策定

エ 就業日報(裏面にある安全就業点検表)を活用した健康管理の啓発

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」

「SNS」等による情報の発信、周知等

カ シルバー人材センター適正就業ガイドラインを活用して、会員及び発注者にシルバー人材センターにおける適正な就業方法等を周知

③ 調査研究

本事業の実績を集計するほか、時代の要請に対応した事業展開を図るため、次のとおり調査研究を行う。

ア 高齢者の就業に対する意識調査に関する調査の実施(就業相談等)

イ 必要に応じ、他センターの情報を収集し、当センターの事業運営に反映させる

④ 会員の拡大

会員が減少する中で、新規会員を拡大するため、次のとおり取り組む。

- ア 入会説明会及び就業相談会の強化
- イ 会員による「一人一会員」運動の継続的推進
- ウ 女性会員の増強
- エ 自治会等との連携による一般家庭へのチラシ配布

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」

「SNS」等による情報の発信

カ 企業退職(予定を含む)者層への入会に向けた働きかけの強化

⑤ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に相応しい仕事を開拓するとともに、高齢者の就業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次のとおり行う。

- ア 官公庁(市長、市議会議長、担当部局等)への要請
- イ 事業所、自治会、関係団体等への訪問

ウ 沖縄市と各種専門団体と連携した空き家対策等

エ デジタル分野の推進

⑥ 相談、情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を

実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、雇用、就業、ボランティア活動等に係る相談、情報提供を一般市民や高齢者に行うため次のとおり取り組む。

- ア 入会説明会の開催
- イ 就業相談

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」・「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施する。また、高齢に伴い就業を離れた高齢者に対しては、高齢会員等の生活環境に合わせたボランティア活動等の社会活動の機会を推進していく。

ア 下校時の児童の安全パトロール

イ 草刈・清掃ボランティア

ウ その他のボランティア等

3 組織の充実・強化と運営基盤の強化

「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、地区・地域班、職群班の組織力向上と地域に貢献するセンターとして体制の充実・強化に努めるため次のとおり取り組む。

(1) 会議

ア 定時総会の開催

イ 理事会の開催

ウ 専門委員会の開催

エ 地区総会の開催

オ 地区長会及び地域班長会の開催

カ その他必要な会議の開催

地区体制・地区活動について話し合う

6地区ごとに「地区集会」開催

新たな地区活動の再開に向けて、6中校地区は3月8日・15日の両日、シルバーワークプラザ2階大会議室で地区ごとに地区集会を開催した。3年来続いたコロナ禍で地区活動が休眠状態に陥り、これを打破するため新たな体制を確立して再出発をめざすのが同集会の狙い。開催を主導した事務局の仲宗根正史局長は「従来の地区体制の在り方を改め、地区活動を通して自主・自立の精神と創意工夫で会員間の楽しい親睦交流や地域貢献ができればと思う」と話し、地区活動の再開に向けて参加者の意見を求めた。会員らは、ボランティア活動やイベントなどについて様々な意見・要望を寄せ、地区活動の再開に意欲をのぞかせた。席上、5地区長が内定した。

3月8日開催



越来・宮里中校地区13人参加



越来・宮里中校地区
八幡勝地区長

美東・東中校地区
饒平名良雄地区長



美東・東中校地区13人参加



安慶田中校地区9人参加

安慶田中校地区
地区長

調整中

3月15日開催

美里中校地区
高吉満弘地区長



美里中校地区22人参加



山内中校地区9人参加



山内中校地区
呉屋本徳地区長

コザ中校地区
牛道敏行地区長



コザ中校地区4人参加

第13回
理事会

会員数は増 その他は減
― 2月実績 ―

第13回理事会が3月28日、シルバーワークプ
ラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」については、9
人(男性7人・女性2人)が承認され、その結
果3月28日現在の会員数は561人(女性19
4人・男性367人)となった。なお、2月の
退会者は7人。

令和5年2月実績では、会員数552人で3
人の増(5%)、就業実人員313人で6人の
減(▲1%)、就業延人員2940人で160
人の減(▲5%)、配分金約1608万円で約
44万円の減(▲2%)、契約金額約1950万
円で約170万円の減(▲8%)となった。

(いずれも対前年同月比)

LINE 公式アカウント

友だち 募集中

@976edmf

LINEの「友だち募集」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください



沖縄市シルバー人材センター

「各々の健康管理で 安全就業」 連合と合同安全パトロール実施

今年度最後となる連合と合同の安全・
適正就業パトロールが3月10日、砂川晃
グループ14人が就業する諸見里公園で行
われた。連合の我那覇宗孝安全・適正就
業パトロール指導員は「慌しい年度末を
迎え、この時期は寒くなったり暑くなっ
たりと体調を崩しやすい。しっかりした
体調管理で就業に臨んでほしい」と話し
た。仲里栄信安全・適正就業推進員は
「現在、無事故137日。この先も続けら
れるように安全就業に努めてほしい」と
無事故継続を訴えた。



砂川草刈班会員の皆さん

◇ 4月の予定 ◇

- ・ 10日(月) 午前10時
新会員入会説明会
- ・ 25日(火) 午前10時
第1回理事会
- ・ 27日(木) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育

編集後記

今月から新年度がスタート。一番に
うれいのは、コロナからの解放であ
る。私達シルバー年代にとって、この
3年の月日は何ともったいない日々だ
ったことか。楽しみだった地区活動が休
眠し、やーぐまい生活を強いられ、巢
ごもりフレイルが続く。長引いたこの
コロナが来月からインフルエンザと同
類の第5類移行へ引き下げられる。完
全終息は見通せないものの、コロナか
らの解放に勝る喜びはない。地区活動
の再開にめどが立ち、6月には定時総
会も開催される。以前のようなシルバ
ー行事やイベントなどを期待し、コロ
ナで失った3年分を取り戻したい、と思
うのは欲張り過ぎか。

編集

東條 正躬
大城 博